

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬エコーランド・みそらの 美味しいガイドMAP 制作出版
事業主体 (連絡先)	エコーランド区成年部 代表者名：部長 亀井 秀則 ガイドマップ担当：高田愛史 (080-1404-8981)
事業区分	⑥ 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	584,064 円 (うち支援金：414,000 円)

事業内容

日本語・英語併記で1年を通して利用でき、かつ、ガイドマップを見ると訪れたいようなデザインのガイドMAPを20000部制作し、白馬村内のインフォメーションセンター、スキー場、宿泊施設、小売店などに無料配布しました。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

■申請時の数値目標

エコーランド区とみそらの区の年間を通した観光客入込数の増加
平成30年1月～3月 対平成29年同月比 10%増加

各飲食店や宿泊事業者などを対象にしてアンケート調査を行うことで事業効果を把握しました。

■事業効果総括

観光客入込状況(速報値)の数値を見ると白馬村全体への観光客入込数は前年度比で10%前後増加していることから、エコーランド区・みそらの区についても申請時の数値目標(平成30年1月～3月 対平成29年同月比 観光客入込数10%増加)は達成できていることが推測できます。もっとも、このガイドマップが数値上どれほど当該2地区への誘客に貢献したかはアンケート調査からは不明です。

しかしながら、このガイドマップの一番の特徴はエコーランド区とみそらの区に該当する全ての飲食店が地図上に全店舗掲載されていること、および日本語英語併記で簡潔に案内標記がされていることです。このことからお客様が多数の選択肢の中から好きに選ぶことができるのでお客様の利便性が向上しています。

また、宿泊施設がお客様に街を案内するときにも大変便利に使っているとお声を聴いています。さらにガイドMAPを見て飲食店の予約電話をして、ガイドM



(ローソン八方店様にて)

【目標・ねらい】

エコーランド・みそらの区の下記の課題を改善することを目標とします。

- ①訪れた人々が飲食店や小売店にアクセスしやすいようにする。
- ②冬季以外のシーズンは観光客数が著しく減少するので、1年間を通して観光客を誘致する。

※自己評価【 B 】

【理由】

■掲載内容・デザインについて
目標とする全店舗掲載・日本語英語併記、見ると訪れたいようなデザインを達成したと評価します。

■配布について
予定していた通り平成30年3月までに配布終了しました。

■使い勝手
英語表記が目立たなかったため外国人に日本語のガイドマップであると誤解された点を改善する必要があります。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

A Pを片手に出歩いている観光客を見かけることも多数あります(アンケート調査をご参照ください)。

これらのことからガイドマップはエコーランド・みそらの地区への観光誘客に効果があり、地域振興に貢献できたと確信しております。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アンケート調査などから得られた反省点を平成30年出版のガイドマップに反映していく所存です。また、出版財源を確保するための広告収入増収についても努力します。総じて言いますと、平成30年度のマップはさらにお客様目線に立って潜在顧客を掘り起こしていけるマップを作りたいと考えております。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



左上：居酒屋ハリス様にて
右上：珈琲せんじゅ様にて
左：マップを見ているお客様